

平成 30 年 9 月 19 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 東京工業大学附属科学技術高等学校 吉田育太郎
2. 講師氏名: (Dr.) Nunthaphan VIKROMVARASIRI
3. 同行者氏名: 氏家 大祐
4. 実施日時: 平成 30 年 9 月 12 日 (水) 15 : 30 ~ 16 : 50
5. 参加生徒: 1 年生 10 人、 2 年生 14 人、 3 年生 1 人 (合計 25 人)
備考: 生徒の分野内訳は応用化学 10 名、情報 1 名、建築 4 名。(本校は二年生から分野別課程)
6. 講義題目: 「The way to be a scientist in biotechnology」
7. 講義概要: 先生ご自身の専門領域(バイオテクノロジー)に関する大まかな紹介、先生がどのような経緯で研究者を志したのか、先生の母国(タイ王国)と日本との学習・研究課程の比較、先生の現在の研究内容の一部の紹介と将来展望など。
8. 使用言語: 英語
9. 講義形式:
 - (1) 講義時間 約 50 分 質疑応答時間 約 30 分
 - (2) 講義方法 プロジェクター使用による講義と、講義の最後に実験。
 - (3) 通訳 一部、問いかけに対する反応が出づらい時などに日本語で補足。
 - (4) 事前学習時使用教材 事前に問い合わせに来た生徒にのみ、当日の資料を渡した。
10. その他特筆すべき事項: 先生が、事前の打ち合わせ段階から綿密に本校生徒の特徴などを調べ、当日は生徒に合わせたレベル(専門の説明も、英語も)で進めてくださった。